

事業所名

MIND after school plus

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		基本理念『個々の力を最大限に』							
支援方針		「基本的生活習慣の獲得や学びに向かう力を育成」「社会を生きぬくための良好な人間関係や社会性を身に付ける」事を目的として支援する。							
営業時間		平日 土・祝・長期 休暇中	10 9 時	0 分から	18 17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示の困難である子どもの障がいの特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づくよう、きめ細かな観察を行う。日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。生活の中で、様々な遊びを通して学習できるよう環境を整える。また、障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。							
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の抱縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊びを通して支援する。保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の補助機器を活用できるよう支援する。感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援する。							
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動に繋げるという一連の認知過程の発達を支援する。物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。							
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。話し言葉や各種の文字・記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言葉を受容し表出する支援を行う。個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。発達障害の子どもなど、障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。各種の文字・記号・絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。手話、点字、音声、文字、触感、平易な表現等によるコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。							
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。							
家族支援		家族の支援にあたっては、子どもの支援と同様、家族のウェルビーイングの向上につながるよう取り組んでいくことが必要であり、家族自身が内在的に持つ力を発揮できるよう、エンパワメントを前提とした支援を行う。				移行支援		障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に成長できるよう、可能な限り、地域の保育、教育等の支援を受けられるようにし、かつ同年代の子どもとの仲間作りを図っていく。	
地域支援・地域連携		子どもにとって、放課後デイサービスで過ごす時間は生活の一部であり、その他の時間は、学校や習い事、別の放デイで過ごします。これらの支援機関が一貫性のある支援で、子どもたちにとって分かりやすい支援を可能とする。				職員の質の向上		子どもたちの発達段階や障がいの種類に応じた知識は、職員には不可欠です。各障がいの特性を理解し、それに基づいた適切な対応や支援を提供するために研修や日々の支援の中で、適切な解決策の提案、実行する能力の育成を図る。	
主な行事等		節分・ひな祭り・子どもの日の節句・七夕・ハロウィン・クリスマスを実施 将棋・囲碁トーナメント かるた取り大会 カードゲーム大会等（企画・実施計画中）							